

水稻情報 (第5号)

令和元年7月9日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

- 平年に比べ、コシヒカリの草丈、葉色、葉齢は並み、茎数は多くなっています(表1)。
- コシヒカリの幼穂形成期(幼穂が2mm頃)は5月14日田植えで7月11日頃、出穂期は8月2日頃と予想されます(表2)。
- 肥効調節型(基肥一発)肥料でも葉色が薄い場合は、出穂1週間前～出穂直前(走り穂)に追加穂肥を施用し、適切な葉色に誘導してください。

1. コシヒカリの穂肥施用

～ほ場ごとに確認し、適期穂肥で目指せ品質向上・収量確保!～

○肥効調節型(基肥一発)肥料の場合 (LPss コシヒカリ1号、コシヒカリ2号等施用)

出穂7～10日前(7月23日頃)の葉色が4.0(砂壤土は4.2)以下の場合は、追肥3号を出穂3日前までに5～10kg/10a施用しましょう(図1)。

○分施の場合

一回目の穂肥は幼穂長15mm(2mmを確認後8日目)を基本とし、草丈が長く葉色が濃い場合は、施用時期を遅らせ、減肥してください。極端に草丈が長い場合は、倒伏を回避するため施用を控えましょう(表2、図1、図2)。

表1 JA あおば管内データ：コシヒカリ (7/2 調査)

	草丈	茎数	葉令	葉色
R1年	61.0cm	549本/m ²	11.7	4.1
近年(H26～30)	59.2cm	502本/m ²	11.2	4.1

表2 幼穂形成期と穂肥時期の目安(平坦地)

田植日	幼穂形成期 (コシヒカリ)	1回目穂肥 施用時期
5月14日	7月11日頃	7月19日頃

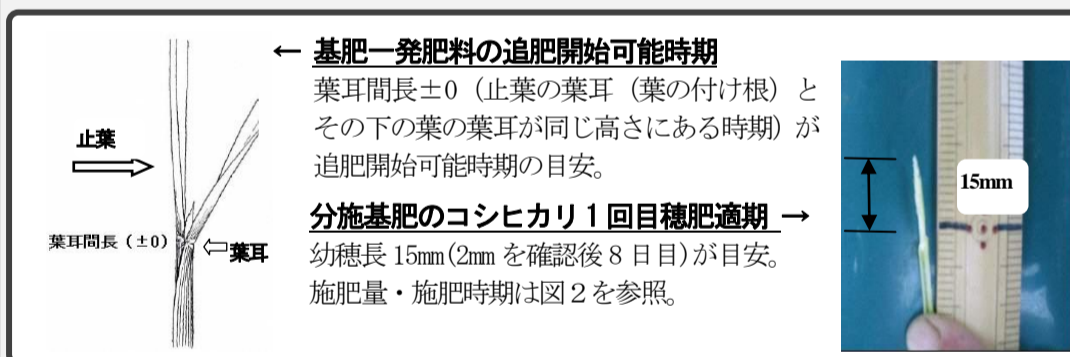


図1 追肥の目安

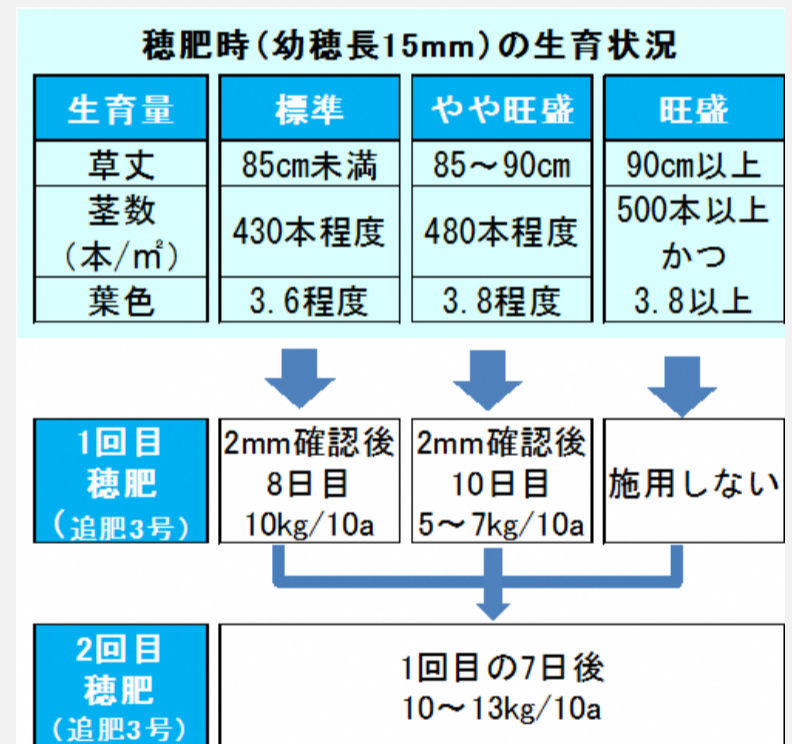


図2 分施体系の穂肥量・施用時期の目安

2. てんこもりの穂肥施用

○肥効調節型(基肥一発)肥料の場合

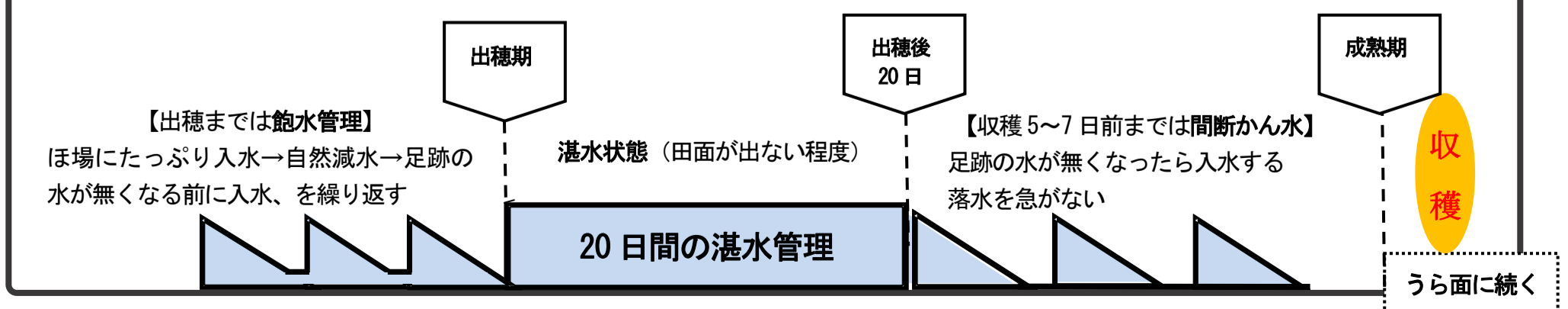
出穂14日前(7月21日頃)の葉色が4.0(砂壤土:4.2)以下の場合は、追肥3号を出穂3日前までに7kg/10a施用しましょう。

○分施の場合

1回目の穂肥は幼穂形成期(幼穂長2mm程度の時期:7月13日頃)、2回目の穂肥はその10日後に、追肥3号を10～13kg/10aずつ施用しましょう。

3. 今後の水管理

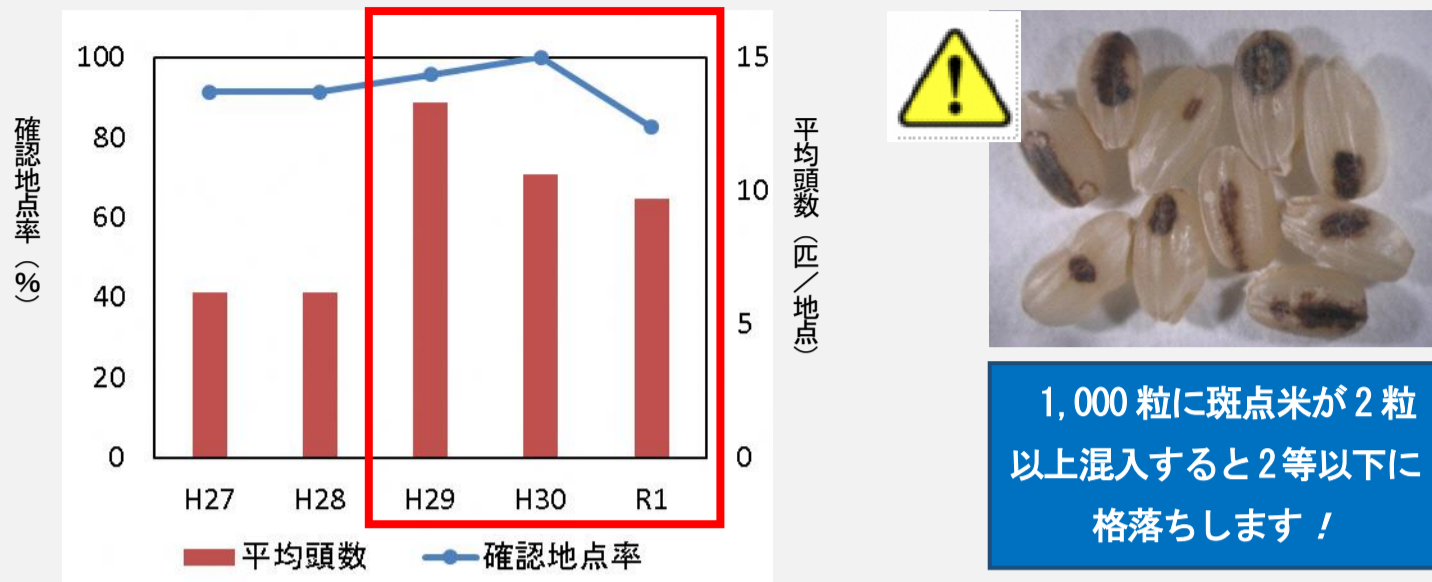
～フェーンや高温が予想されるときは事前に入水しましょう～



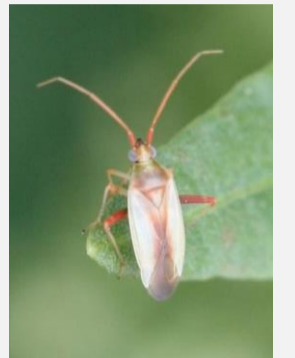
カメムシ対策 第5回

～草刈りと防除の徹底で斑点米ゼロ!!～

斑点米の原因となるカメムシが多く発生しています！



アカヒゲホリミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

図3 畦畔・雑草地のカメムシ確認地点率と発生頭数
(JA あおば管内 調査は6月下旬実施)

- カメムシが好むイネ科雑草の穂が出る前に草刈り等を徹底しましょう（およそ3週間間隔）。
※ほ場内のヒエ等が残っている場合も穂が出る前に抜き取りましょう。
- やむを得ず穂の出ている雑草を刈る場合は、本田の薬剤防除の直前に行いましょう。
- 防除の徹底で斑点米を防ぎましょう。特に共同防除を実施することで、効果が高まります。
- 防除の散布間隔は7日間を目安とし、10日間以上あけないようにしましょう（表3）。

表3 防除時期の目安（平坦地）～穂揃期+傾穂期の2回防除を徹底しましょう！～

品種	てんたかく	コシヒカリ	てんこもり
出穂予想	7/18～7/20 (連休植)※	8/1～8/3 (5月14日植)※	8/3～8/5 (5月8日植)※
1回目	穂揃期 7/22～7/24 粉剤：ビームスタークル粉剤 5DL 4kg/10a 液剤：ビームエイトスタークルゾル	穂揃期 8/5～8/7 粉剤：ビームスタークル粉剤 5DL 4kg/10a 液剤：ビームエイトスタークルゾル	穂揃期 8/7～8/9 粉剤：ビームスタークル粉剤 5DL 4kg/10a 液剤：ビームエイトスタークルゾル
2回目	傾穂期 7/29～7/31 粉剤：キラップ粉剤 DL 4kg/10a 液剤：キラップフロアブル	傾穂期 8/12～8/14 粉剤：キラップ粉剤 DL 4kg/10a 液剤：キラップフロアブル	傾穂期 8/14～8/16 粉剤：キラップ粉剤 DL 4kg/10a 液剤：キラップフロアブル
※キラップ粉剤・液剤ともに、使用時期は収穫14日前まで			
3回目 (多発時)	【随時】収穫7日前まで 粉剤：スタークル粉剤 DL 3kg/10a 液剤：スタークル液剤 10	【随時】収穫7日前まで 粉剤：スタークル粉剤 DL 3kg/10a 液剤：スタークル液剤 10	【随時】収穫7日前まで 粉剤：スタークル粉剤 DL 3kg/10a 液剤：スタークル液剤 10

- 液剤等の量は1,000倍希釈液を100～150L/10a散布する。
- 農薬の散布前に、使用方法等を再度確認しましょう。また、風の無い時間帯を選んで均一に散布して下さい。
- ※田植時期等により、生育が異なる場合は稲の生育時期に合わせて防除を行いましょう。

【粒剤体系（コシヒカリの場合）】

- 1回目 : 7/23頃（出穂5～10日前）にイモチエースキラップ粒剤を3kg/10a湛水してから散布する。
- 2回目（随時）: 8/5頃（穂揃期）にスタークル豆つぶを250g/10a湛水してから散布する。

畦畔まで薬剤が
かかるように
散布しましょう！



農薬散布は、
周辺のは場へ飛散しないように
注意しましょう！

水稻情報第6号は、7月29日の発行予定です